

令和3年12月号

米沢市在宅医療 介護連携支援センターたより

2021.12.16

センターからのお知らせ

今月号は、
米沢版エンディングノート
「おしょうなノート」の普及啓発
寸劇や研修会の様子、感想等
を紹介します。(第1弾)



米沢市マスコットキャラクター
お船の方/おせんちゃん ©aki okano

～住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けるために～

元気なうちから考えてみませんか おしょうなノートを使ってみよう

期間 2021年11月16日～12月2日まで

会場 三沢・中部・愛宕・六郷・松川コミュニティーセンター

三沢コミュニティー センター



◆寸劇あらすじ

元気だった主人公(太郎さん)が突然、脳出血で倒れ、病院に救急搬送されました。家族に意思表示していなかったケースと、「おしょうなノート」に意思表示をしていたケース、家族達はどう対応したかを、社会福祉協議会の相談員と当支援センターの担当で、各会場で演じました。

寸劇の様子



研修会の様子



ご感想等(一部抜粋)

- ・参考になった。残された人は大変だ。感動しました。
- ・ノートに書き留めておくことは良いと思った。
- ・苦しい、辛い時は治療してほしい。食べたい気持ちはなくならないと思う。
- ・71歳過ぎに、色々教えて頂きました。介護予防、認知症講座等4つの講座に参加し、最後に、エンディングノートの講座は勉強になった。書いてみようと思った。若い人にも伝えたいと思った。
- ・延命治療について、医師の言葉などそっくりで思い出した。
- ・健康に気をつけている。長生きしたい。素晴らしい劇ありがとうございました。
- ・夫を一年半前に亡くした。延命治療をしなかった。夫の思いを聞いていれば良かった。もっと早くこのような講座を聞きたかった。
- ・漠然としか考えていなかった。若い人、子供のために考えておかなければならないと改めて思った。